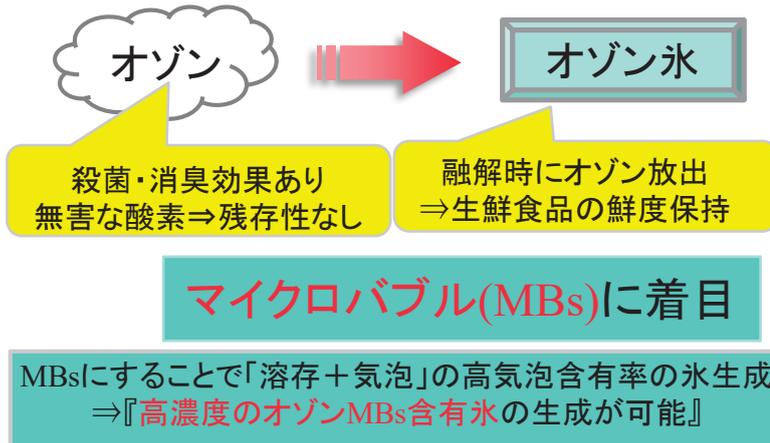


水道水を使用したオゾンマイクロバブル含有氷 連続製造研究

研究代表者 松本 浩二 研究員

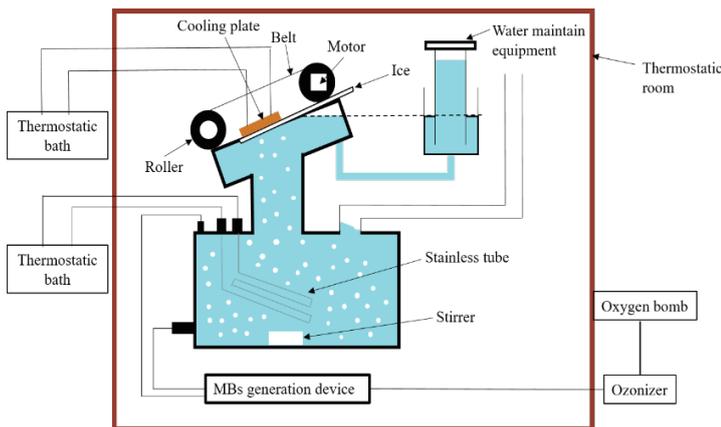
研究背景



実験装置

氷厚さの制御が必要

ベルト速度によって氷厚さを
制御可能な連続製氷システムを開発



特徴

- ・一定の氷厚さの氷を連続的に生成可能
- ・回収に外力・熱を必要としない
- ・製氷と回収を同時にできる

実験目的

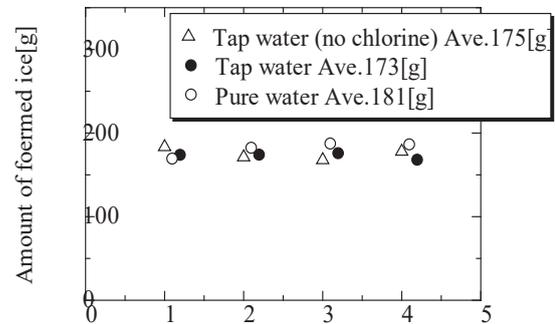
従来では純水を使用して氷を生成
↳ 純水生成装置の設置でコストがかかる

水道水で作ることに着目

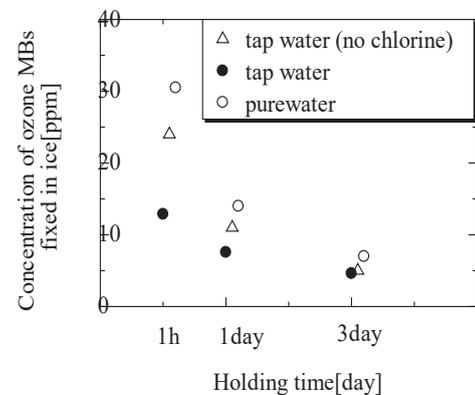
水道水中の塩素が
オゾンの分解を促進！
→塩素を除いた水道水でオゾンMBs含有
氷を生成し、検討する

実験結果

製氷量の比較



氷中に固定化されたオゾンMBs濃度



水道水の場合塩素の影響を受けており、塩素を除いた場合純水のデータに近づくことがわかった